

小さな不燃ごみも ちょっとした工夫で

小さな不燃ごみ

缶詰めのふた
びんのふた
王冠
クリップ
プルトップ
ホチキスの針など

小さな不燃ごみは意外と始末に困る物。つい可燃ごみの袋に入れてしまったり、びんにつけたまま資源物の日に出してしまいます。ごみ出し口やキッチンまたはゴミをためて置く所のそばに小さな不燃ごみ専用の容器（ヨーグルトの空き容器や小さなかご等）が一つあるとまとめるのにとっても便利です。



パソコンの回収リサイクル

平成15年10月から資源有効利用促進法に基づき、家庭から排出される使用済みパソコンのメーカーによる回収・資源化が始まりました。

平成15年10月以降に販売されたパソコンにはPCリサイクルマーク（右図）が付いています。それ以外のパソコンは消費者がリサイクル料金を負担してメーカーが引き取ることになります。



イラスト：小平由美子さん

ごみ減量1人1日

100g

ダイエット
大作戦

生ごみの水きり
雑紙の分別 が効果的

草加市では1人1日100gのごみ減量を進めています。

これが実現できると年間で約8,400トンのごみ減量につながり、1億6,800万円のごみ処理費用節約になります。限りある資源を有効に使うためにもごみの分別、減量にご協力ください。

ごみの集積所から集められた可燃ごみは、越谷市の東埼玉資源環境組合に運ばれて、焼却処理されています。ごみ収集車が集めてきたごみをピット（ごみを一時的に貯めておく所）にあける時、収集車の汚水だめから大量の汚水が一緒に出てきます。この汚水の重さもごみ処理費用に積算されてしまいます。水分の多い夏場によく見られますが、各家庭での三角コーナーや排水かごの水切りをお願いいたします。



このパンフレットは再生紙を使用しております

ざつがみ 雑紙も資源です

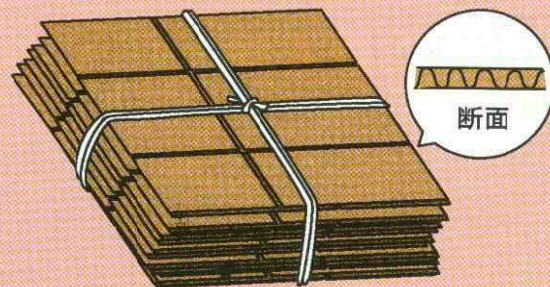
- 地域の資源集団回収
 - 月2回の資源物収集日
- に出してください



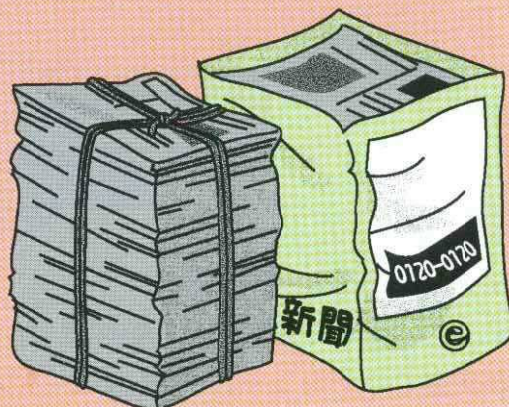
新聞・雑誌・段ボールは、地域の集団回収や月2回の資源物収集日に出され、分別収集がかなり進んでいます。この他に「雑紙」（ざつがみ）という分類があることをご存じでしょうか。様々な包装紙や紙袋、商品のパッケージ、封筒、はがき、名刺、トイレットペーパー・ラップの芯など紙でできている物のほとんどが雑紙としてリサイクルできます。（油等で汚れているものや感熱紙などの薬品を塗ってあるものはだめです。）

ごみの中身を分析すると約3分の1が紙類で、そのうち半分以上がリサイクル可能なものです。雑紙も分別してごみの減量にご協力ください。

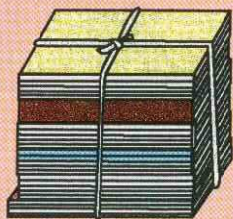
段ボール



新聞・チラシ

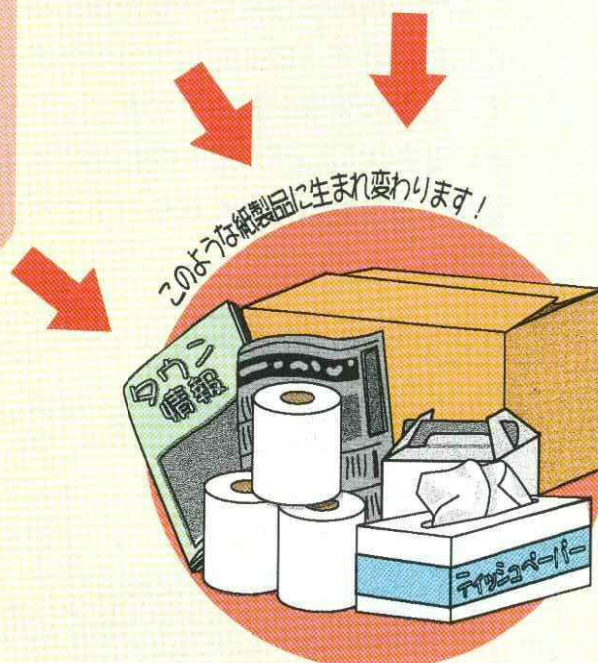


雑誌



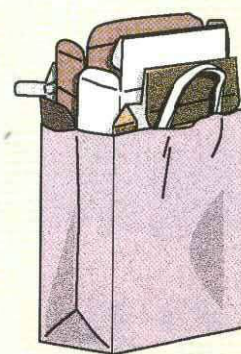
雑紙

包装紙・紙箱・紙袋
封筒・はがき・名刺
トイレットペーパー
やラップの芯

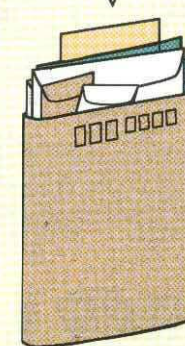


雑紙のまとめ方

デパートなどの紙袋に入れる



大きな封筒に入れる

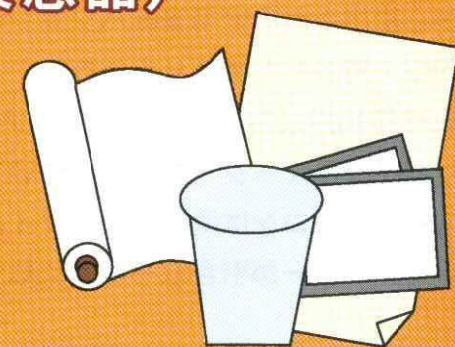


雑誌にはさむ



混ぜてはいけない紙（禁忌品）

カーボン紙
感熱紙
写真紙
紙コップなどの
ワックス加工品



紙資源の分け方